

Peripheral Driver Generator V.2.03ご使用上のお願い

Peripheral Driver Generator V.2.03の使用上の注意事項を連絡します。

- RX210グループMCUのクロック発生回路を設定する際の注意事項

1. 内容

Peripheral Driver Generator V.2.03で生成したRX210グループMCUのクロック発生回路を初期設定する関数 R_PG_Clock_Setをユーザプログラム中で呼び出すと、戻り値がfalseになり、クロック発生回路の設定ができない場合があります。

2. 発生条件

クロック発生回路設定ウィンドウ (SYSTEMタブ) の入力項目が、以下のいずれかの条件を満たす場合に発生します。
なお、RX210シリーズMCU以外では発生しません。

- (1) 周波数設定エリアに表示される以下のいずれかの内部クロック分周比が16以上である。

- システムクロック(ICLK) の 内部クロック分周比
- 周辺モジュールクロックB(PCLKB) の 内部クロック分周比
- 周辺モジュールクロックD(PCLKD) の 内部クロック分周比
- FlashIFクロック(FCLK) の 内部クロック分周比
- 外部バスクロック(BCLK) の 内部クロック分周比

- (2) 「内部クロックソース周波数」に表示される値を以下の値で除算すると、結果がひとつでも整数ではない。

- システムクロック(ICLK) の「実際の値」

周辺モジュールクロックB(PCLKB)の「実際の値」
周辺モジュールクロックD(PCLKD)の「実際の値」
FlashIFクロック(FCLK)の「実際の値」
外部バスクロック(BCLK)の「実際の値」

(3) 内部クロックソースのリストから、メインクロックとPLL回路以外を選択し、かつ「メインクロック発振器を使用する」チェックボックスをチェックする場合、「メインクロック(EXTAL入力)周波数」の値(Hz換算値)を以下の値で除算した結果がひとつでも整数ではない。

システムクロック(ICLK)の内部クロック分周比
周辺モジュールクロックB(PCLKB)の内部クロック分周比
周辺モジュールクロックD(PCLKD)の内部クロック分周比
FlashIFクロック(FCLK)の内部クロック分周比
外部バスクロック(BCLK)の内部クロック分周比

3. 回避策

問題が発生する場合は、クロック発生回路の初期設定にR_PG_Clock_Set関数を使用しないでください。

4. 恒久対策

Peripheral Driver Generator V.2.04で改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。